

017

歴史に親しむ金沢 その3

講座内容

この講座は2年間(春学期・秋学期×2回、その1からその4)を受講することにより、古代から近現代までの金沢区域を中心とした政治、文化、庶民の生活等をわかりやすく解説し、理解していただくことを目的としている。その1は鎌倉時代まで、その2は室町時代から戦国時代まで、その3は江戸時代を、その4は明治から近現代までの金沢区域を中心として起こった話題を金沢区関連であれば範囲を周辺地域に拡大して郷土の歴史を紹介したい。

期間	6月7日～7月5日	受講料	5,000円
曜日	土曜日	定員	50名
時間	10:00～12:00	会場	横浜・金沢八景キャンパス
回数	全5回、1回は「街歩き歴史体験」	持ち物	筆記用具
教材	講師が毎回講演概要を配布、当日はパワーポイントによるスライド説明		
備考	第3回講座(6月21日)は街歩きを行います。詳細は講座内でお伝えします。		

講座スケジュール

回数	日程	内容
1	6月 7日 (土)	江戸時代の瀬戸神社 景勝地、交通の要衝に立地し広く崇敬された瀬戸神社を考察する。
2	6月14日 (土)	近世金沢の農水産業 江戸時代に、ここ金沢で営まれた農業、漁業、塩業等を概説する。
3	6月21日 (土)	街歩き 歴史体験「江戸時代の六浦、金沢を巡る」 金沢八景権現山公園(集合10:00)⇒米倉陣屋跡(米倉家墓所・笠森稲荷)⇒金龍禅院(九覧亭)⇒平潟湾プロムナード(金沢八景公園)⇒永島亀巢功德之碑⇒金沢塩田跡⇒洲崎町交差点⇒瀬戸橋⇒姫小島水門跡⇒瀬戸神社(解散12:30) 行程約4.5km 約2時間30分 コースは変更する場合があります。
4	6月28日 (土)	廣重のスケッチから江戸時代の金沢をしのぶ 廣重の風景画は、歴史とアートが交わる美しい窓。金沢と彼の作品に焦点を当てます。
5	7月 5日 (土)	横浜の大名・米倉家 甲斐武田氏家臣のち徳川氏旗本そして12000石の大名へ。

講師紹介

コーディネーター

田中 保(たなか たもつ)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員
ガイド歴11年、「江戸時代の瀬戸神社」の講義を担当及び「街歩き歴史体験」の企画・実施リーダー、コーディネーター

栗林 信夫(くりばやし のぶお)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員
ガイド歴13年、「近世金沢の農水産業」の講義を担当

篠崎 博之(しのざき ひろゆき)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員
ガイド歴7年、「廣重のスケッチから江戸時代の金沢をしのぶ」の講義を担当

井上 泰利(いのうえ やすとし)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会会員
ガイド歴21年、「横浜の大名・米倉家」の講義を担当